

「土台はイエスさま」

マタイによる福音書7章24～27節

聖学院小学校・幼稚園チャプレン 濱田辰雄

今読んだ聖書はイエスさまのお言葉です。イエスさまは「わたしの言葉を聞いてその通り行なう人は、岩を土台として家を建てた賢い人と同じだ」と言っておられます。それは岩を土台として家を建てれば大きな洪水が押し寄せても家がこわれなからです。ところが愚かな人は砂の上に家を建ててしまって、ちょっとした洪水ですぐ家をこわしてしまいます。イエスさまの言葉を聞かないで自分勝手に生きている人はそういう愚かな人だとおっしゃっています。

今日先生は牛乳パックを二つ持ってきました。一つはふつうの牛乳パックです。もう一つは牛乳パックの底にわりばしを入れて動かなくしたものです。最初にふつうの牛乳パックを手の上に置いてみますね。風が吹いてきた感じでちょっと手をゆらしてみましよう。あー、大丈夫です。次はもっと強い風が吹いてきました。ビュービューと吹いてきました。ああ、落っこちてしまいました。これはお家(牛乳パック)がただ手のひらに乗っかっているだけだからだったんですね。次にわりばしが底についている牛乳パックでやってみましよう。ビュービュー強い風が吹いてきました。けれどもお家はビクともしません。なぜでしょう。そう、土台となっている4本のわりばしが先生の手の指の間にあるからですね。この4本のわりばしがしっかりとした土台となっているのです。

イエスさまのお言葉はどれもこれもすばらしくて、私たちの心をとても強くしてくれます。人生に押し寄せてくるどんな強い風や波にも負けないで生きてゆけます。先生も何べんも何べんもそういう経験をしてきました。先生は毎日聖書を読んでいます。つらい時、苦しい時、さびしい時には特に時間をかけて聖書を読みます。そうしたら本当に心が軽くなって、つらさや心の痛みがなくなっていくのです。イエスさまはいつも私をみていてくれるんだなあ、イエスさまはいつも私と一緒にいてくれるんだなあ、とわかってうれしくなるのです。

幼稚園のみなさんも先生たちのお話をよく聞いてイエスさまのお話を知り、そしていっしょけんめいお祈りしていきましょう。そうしたらみんなの心にも決してこわれないうっかりとした土台ができていきますよ。

2012年7月9日 聖学院幼稚園 全園礼拝